

3 学期終業式 式辞

みなさんおはようございます。寒さの中に春の気配を感じる季節となりました。本日は3 学期終業式、令和4 年度が終了します。まずは本年度みなさんにお伝えしたことを振り返ってみましょう。箱根駅伝出場、常連校の監督さんの名言「進化を止めた時点で退化となる」や超一流リゾートの広報コメント「ここは永遠に完成しない場所、この世界に創造力がある限り、成長し続ける」を紹介し、変化に対応し、計画的にチャレンジすることを伝えました。その他、民法が改正され成人年齢が20 才から18 才に引き下げられたことを紹介し、社会への参画意識を高めること。ドイツにてG7 サミットが開催されたことを紹介し、国際社会の課題や動向を把握すること。人間性に磨きをかけAI では代替困難なしなやかな力を育むこと。AI をコントロールするのは人であること。エージェンシーやイノベーションについて、古典文学作品を紹介し、自国の伝統文化に触れる機会をもつこと。身近な「SDGs」に取り組み【誰一人置き去りにしない】と言ったスローガンの実現に向かうこと。読書活動の意義について。「ウェル・ビーイング」な学校づくりになどについてみなさんの成長を心から願いお伝えしました。

個々に解釈し実践いただきましたか、本日改めて振り返り、自分事として捉え、未来を生きていく力に繋げていただきたく思います。

学校としましては、全ての価値判断を生徒の皆さんの成長に置き「明るく・たくましく・心爽やかな」国際社会に貢献できる人材を育成し、地域に信頼され、誇りとされる学校を目指し、教職員一同、様々な教育活動を推進してまいりました。結果、周囲からは本校に対して様々な肯定的な評価をいただいています。

今、生徒の皆さん、保護者の皆さまをはじめ関係者の皆さま、教職員の協働連携が充実し、飛躍の時と捉えています。総じて本年度は学校力の向上が顕著でありました。今後も進化を止めずにみなさんとともに「ウェル・ビーイング」な学校づくりに向かいたいと思います。ご協力をお願いいたします。

さて、まもなく新年度が始まります。世界中の人々が感染症のパンデミックから抜け出しつつあり新しい希望の年の幕開けです。個々に高い理想と希望を描き新たな歩みを始めて下さい。

同時に新入生がまもなく入学します。上級生としての自覚を持ち新入生を暖かく迎えて下さい。

終わりになりますが、新年度がみなさんにとって更なる飛躍の年となることを念じ式辞とします。

貝塚南高等学校長 藤田繁也